製品仕様書

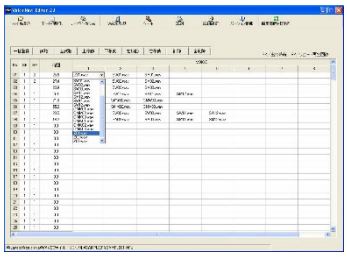
[WAVE ファイル再生ユニット]
デジタルアナウンスマシン WRX-8F1

FA RoHS PSE

電源 ON 起動時間・RBUSY 時間の訂正	E	PS-WRX8F1-E210914
再生モード部分の誤記修正	D	PS-WRX8F1-D210209
改定	C	PS-WRX8F1-C150501

[付属品] AC アダプタ/CF カード(工業用) 256MB

サポートソフト VoiceNavi Editor [無償 WEB 配布]



RoHS 指令対応モデル
フォトカプラ入出力(FA 仕様)
クラアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

- ■端子台による録音・再生制御
- ■MIC/ライン入力による CF カードへダイレクト録音
- ■サポートソフトによる音声・音源データを登録・変更
- ■フォトカプラ入出力(FA 仕様)
- ■8CH-接点制御 (録音再生)
- ■255CH-バイナリ制御 (再生・録音)
- ■監視用出力端子 BUSY/ALM
- ■ライン出力 600Ω不平衡
- ■5W スピーカーアンプ搭載
- ■EIA1U ハーフサイズ 210W×180D×44Hmm
- ■DC24V または DC12V 電源 (端子台入力)
- ■付属品 AC アダプタ/CF カード 256MB(工業用)
- ■サポートソフト VoiceNavi Editor
  [無償 WEB 配布/付属品 CF カード内収録]

商品概要

WRX-8F1 はダム・水門放流警報、自治体防災放送、電車接近放送など各種自動放送の音源部や防災・通信システムの放送制御卓の録音再生部として最適なデジタルアナウンスマシンです。
記憶媒体に CF カード、音源に 44.1KHz/22.05KHz 16Bit/8Bit 高音質サンプリングの WAVE ファイル、600Ω不平衡ライン出力、5W スピーカーアンプ搭載、8CH 接点制御/255CH-バイナリ制御、フォトカプラ入出力、マイク・ライン入力による CF カードへのダイレクト録音(WAVE ファイル形式)、またはサポートソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)による音声・音響データ登録・変更が簡単にお客様自身で行えます。
WAVE ファイル・CF カード採用と無償 WEB 配布のサポートソフト VoiceNavi Editor によりクラアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

主な使用用途

- ●自動放送システムの音源
  - ・ダム・水門放流警報 ・自治体防災放送
  - ・電車接近放送他
- ●音声・音響警報システムの音源
- ●防災放送の制御卓用の録音再生部
- ●各種放送の制御卓用の録音再生部
- ●RoHS 指令対応品が要求される分野
- ●WRX7000 後継機・互換機

特長

- ■RoHS 指令対応品
- ■MIC/ライン入力による CF カードへダイレクト録音
- ■サポートソフトによる音声・音源データを登録・変更
- ■端子台による録音・再生制御
- ■フォトカプラ入出力<FA 仕様>
- ■音源に WAVE ファイル採用
- ■高音質サンプリング 44.1/2.05KHz 16/8Bit Mono
- ■記憶媒体に CF カード採用 128/256/512MB・1GB
- ■録音プロテクト 全 CH/個別 CH(1～4CH)スイッチ
  ファイル名よる録音禁止
- ■コンパクトサイズ・EIA ラック対応
- ■サポートソフト VoiceNavi Editor [無償 WEB 配布]
- ■8CH-接点制御 (録音再生)
- ■用途別再生モード・インターバルタイマー
- ■255CH-バイナリ制御 (再生・録音)
- ■P/R 端子(再生/録音モード切替)
- ■監視用出力端子 BUSY/ALM
- ■自己復旧機能(ウォッチドックタイマリセット)
- ■スピーカー出力 5Wmax. 8Ω
- ■ライン出力 600Ω0dB 不平衡 (-10dBm～8dBm)
- ■EIA1U ハーフサイズ 210×44×180mm
- ■AC100V 電源(AC アダプタ付属)
- ■DC24V または DC12V 電源 (端子台入力)

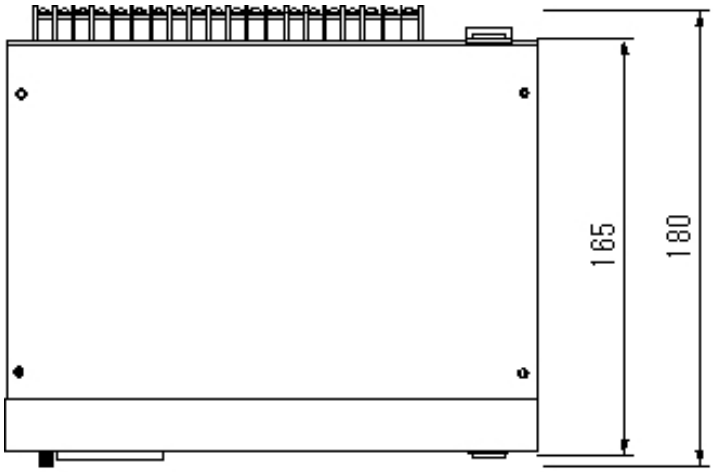
標準仕様

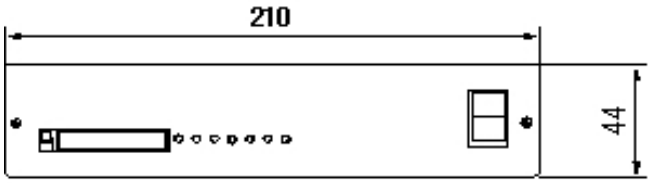
FA RoHS PSE

定格使用電圧	AC100V　50/60HZ　（注）付属品 AC アダプタ使用 DC+24V±5% または DC+12V±5%　　リアパネル M3 端子台	
消費電力・電流	AC100V 時　待機時　約 7W　最大時　約 23W（注）付属品 AC アダプタ使用時 [DC 電源の場合] DC+24V 時　待機時　　約 130mA　　最大時　約 450mA DC+12V 時　待機時　　約 200mA　　最大時　約 760mA	
寸法・重量	210W　X　180D　X　44H　mm　　約 1.5 Kg　EIA ラック収納対応	
仕上・塗装	スチール　ブラック　焼付塗装	
使用環境	使用時：-5℃～55℃　0%～80%RH　保存時：-10℃～70℃（但し結露なき事）	
録音・再生方式	■ダイレクト録音　WAVE ファイル形式（注)PCM 録音後、WAVE ファイル形式で記録 ■サポートソフト登録　WAVE ファイル サンプリングモード　44.1/22.05KHz 16/8Bit　Mono	
再生帯域	80Hz～10KHz	
音声入力	MIC 入力	9dBm（出荷時）　（注）VR1　4dBm～13dBm　ミニジャック　リアパネル
	LINE 入力	-5dBm（出荷時）（注）VR2　-9dBm～0dBm　ミニジャック　リアパネル
音声出力	SP 出力	AC100V 時　5Wmax.8Ω　M3 端子台　リアパネル DC＋24/12V 時　5Wmax.8Ω　M3 端子台　リアパネル
	LINE 出力	600Ω　0dBm　RCA ピンジャック　（-10dBm～8dBm 調整可）
音量調整	SP 出力	シャフトツマミ付可変ボリューム（リアパネル）
	LINE 出力	本体内ボード上半固定ボリューム　-10dBm～8dBm
適用カード	［付属品］CF カード（工業用）256MB　1 枚　（44 分 max. 44.1KHz16Bit Mono 時） CF カード　128/256/512MB　1GB　　1 枚 max.	
録音制御 サポートソフトもよる 音声データ登録	下記方法で音声・音源データの録音・登録ができます ダイレクト録音の場合：接点制御　8CH　リアパネル端子台制御 サポートソフト登録の場合：接点制御　8CH　リアパネル端子台制御可 サポートソフト登録の場合：バイナリ制御　255CH　プログラム登録対応 ■接点制御　8CHmax. M3 端子台　フォトカプラ入出力＜FA 仕様＞ ダイレクト録音(マイク・ライン入力）リアパネル端子台　P/R 端子　ON 時―録音モード 録音終了後、自動的に WAVE ファイル形式に変更・記録します。 IN：P/R(REC）無電圧メーク/NPN オープンコネクタ IN：/1-8 /無電圧メーク/NPN オープンコレクタ IN：/STOP 無電圧メーク/NPN オープンコネクタ OUT：/BUSY/ALM　オープンコレクタ出力　DC+50V　500mA ・録音サンプリングモード　44.1/22.05KHz 16/8Bit　Mono　（DIPSW 設定） ・/R+/1～8　録音開始　/STOP　録音終了で CH1～8 に録音。 ・上書き録音形式　（注)DIPSW　録音禁止スイッチ有 ■サポートソフト　VoiceNavi Editor によりよる音声・音響データ登録 サポートソフト　VoiceNavi Editor 上で音声・音響データ(WAVE ファイル)を登録後、接点端子(アドレス)に登録して WRX シリーズ用カードデータを作成。市販 USB カードアダプタ経由で CF カードにコピー。 ・適用 WAVE ファイル　44.1/22.05KHz 16/8Bit　Mono ・プログラム登録　1 接点(アドレス)組立再生　8 データ max.　リピート回数　9 回 max.	
再生制御	再生モードは MODE1 SW で設定 ■接点制御　8CHmax.　M3 端子台　フォトカプラ入出力＜FA 仕様＞ [再生モード]　1.通常再生　2.後入力切替　3.優先順位　4.順番再生 インターバルタイマー：0/5/10/15 分（通常再生モード時） IN：/SW1～SW8　/STOP /OP　無電圧メークまたは NPN オープンコレクタ OUT：/BUSY /ALM　オープンコレクタ出力（DC+50V　500mA） ■バイナリ制御　255CHmax.（再生・録音）M3 端子台　フォトカプラ入出力＜FA 仕様＞ IN：/D0～D7　/STOP /ST　無電圧メークまたは NPN オープンコレクタ OUT：/BUSY /ALM　　オープンコレクタ出力（DC+50V　500mA）	

<table>
<tr><td>録音時間
または登録時間</td><td>CF カード容量とサンプリングによる（注)録音サンプリングモード-リアパネル DIPSW 設定
<table>
<tr><td rowspan="2">カード容量</td><td colspan="2">44.1KHz</td><td colspan="2">22.05KHz</td></tr>
<tr><td>16Bit</td><td>8Bit</td><td>16Bit</td><td>8Bit</td></tr>
<tr><td>128MB</td><td>22.4 分</td><td>44.8 分</td><td>44.8 分</td><td>89.6 分</td></tr>
<tr><td>256MB</td><td>44.8 分</td><td>89.6 分</td><td>89.6 分</td><td>179.2 分</td></tr>
<tr><td>512MB</td><td>89.6 分</td><td>179.2 分</td><td>179.2 分</td><td>358.4 分</td></tr>
<tr><td>1GB</td><td>179.2 分</td><td>358.4 分</td><td>358.4 分</td><td>716.8 分</td></tr>
</table>
(注)44.1/22.05KHz データの混在録音・登録・再生ができます。</td></tr>
<tr><td>再生時間</td><td>■ダイレクト録音の場合　　録音した時間
■サポートソフト登録の場合　登録した時間またはプログラム内容による</td></tr>
<tr><td>付属品</td><td>AC アダプタ　1.5m コード 1 個　PSE/RoHS（IN 100V 50/60Hz　OUT DC+24V 1A）
CF カード(工業用)　256MB　1 枚
[収録データ]　サンプルデータ　サポートソフト　VoiceNavi Editor 2J
音源ライブラリ　ブザー・チャイム音など効果音・擬音他</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td>CF カード(工業用)　256MB/1GB　RoHS
WRX-LKANAGU-B01 補助金具　L 金具　RoHS 対応
WRX-EIA1U-B210S　補助金具　EIA ラック収納用(1 台)　RoHS
WAV-E/2S　補助金具　EIA ラック収納用(2 台)　RoHS</td></tr>
<tr><td>適用サポートソフト</td><td>サポートソフト　VoiceNavi　Editor　[無償 WEB 配布/付属品 CF カード内収録]</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>●遠隔監視用接点端子 BUSY(PLAY)出力　ALM(CPU 異常)出力
●自己復旧機能(ウォッチドックタイマリセット) ALM 出力・保持
●全 CH 録音プロテクトスイッチ　MODE1 の 6
●個別 CH 録音プロテクトスイッチ　MODE2 SW　1-4CH
●WAVE ファイル名による録音プロテクト（WRX001.wav～WRX008.wav のみ再録音可）</td></tr>
</table>

外観図





■設置方法

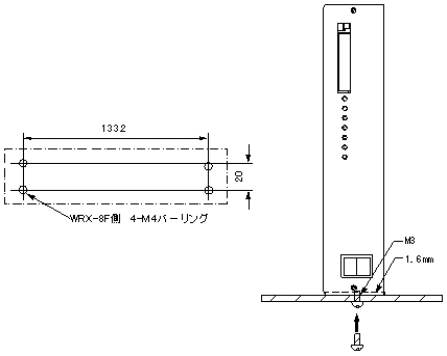
CF カード　脱着距離 40mm を考慮して設置します。
振動が多い場所では、防振ゴム等の耐震対策を行って下さい。

寸法・重量	210W X 180D X 44H mm（突起部含まず）　約 1.5 Kg（突起部含まず） [基板穴寸法] 160W X 60D 4-Φ4mm [CF カード　脱着距離] 37mm 以上　カードサイズ:42.8W×36.4Dm×3.3H mm

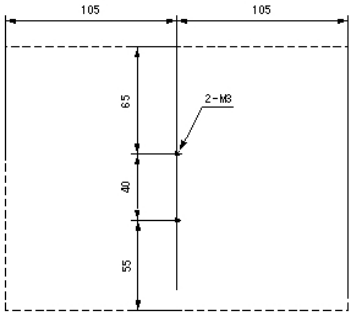
■据え置き

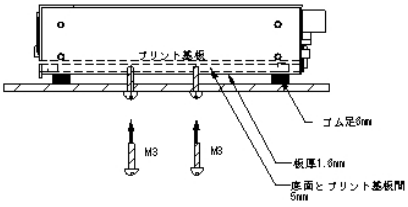
ゴム足(高さ 6mm)が底面に貼付されています。そのまま設置できます。

■ネジ止め固定（側面利用）

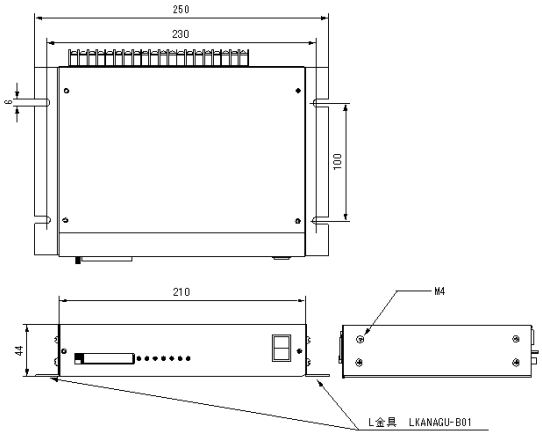


■ネジ止め固定（底面利用）





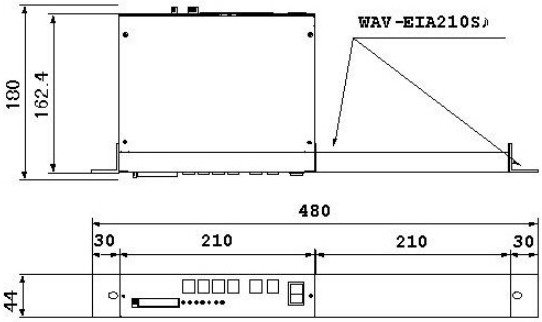
■L 金具による固定　（オプション　WRX-LKANAGU-B01）



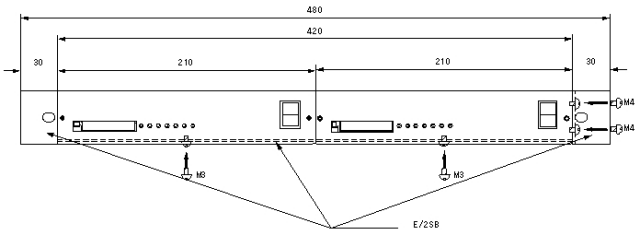
振動の多い場所では、ゴムなど緩衝材を入れ、振動対策を行って下さい。

■EIA ラックに収納する場合

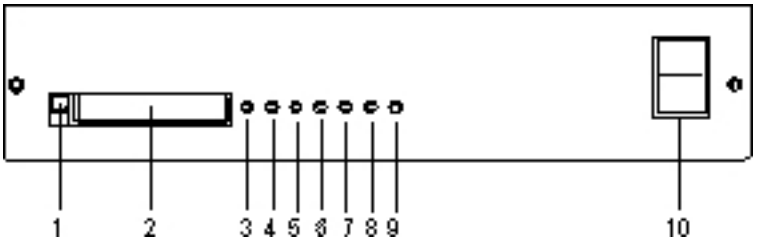
●WRX-8F1 1 台の場合
補助金具　WRX-EIA1U-210BS



●WRX-8F1　2 台の場合
補助金具　WAV-E/2S

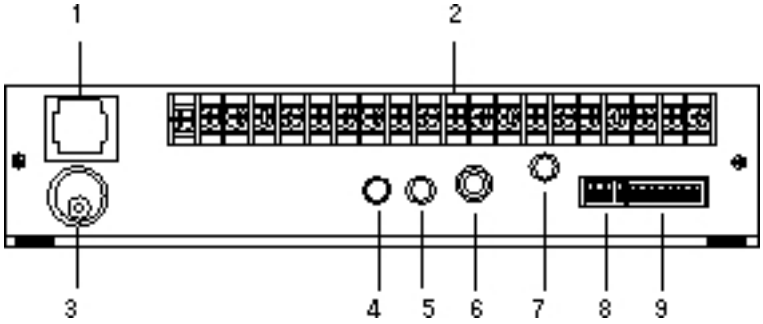


■フロントパネル



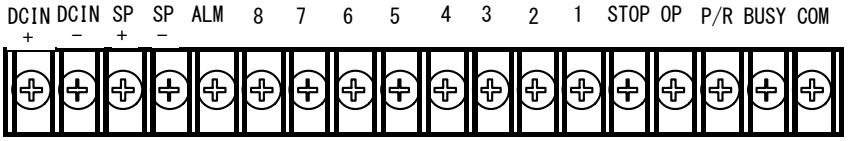
表示	表示	名称	機能
1	EJECT	エジェクト端子	CF カード排出用プッシュ端子
2	Flash Card	カードコネクタ	CF(コンパクトフラッシュ)カード用コネクタ
3	CD	カードイン LED	CF カードがコネクタ IN 時、点灯
4	PLAY	再生中 LED	再生中点灯　並びに各種エラー表示
5	REC	録音中 LED	録音中点灯
6	ER	エラーLED	初期化処理/オールクリア等各種処理時点灯
7	LEVEL	入力レベル LED	マイク入力のレベルオーバー時に点灯
8	ALM	アラーム LED	ノイズ等で CPU が暴走した場合に点灯、電源再投入で消灯
9	POWER	電源 LED	電源 ON 時、点灯
10	POWER	電源スイッチ	DC 電源 ONOFF

■リアパネル



表示	表示	名称	機能
1	FUSE	ヒューズホルダ	ヒューズホルダ
2		端子台(M3×18P)	下記参照
3	DC IN	DC ジャック	AC アダプタを接続します。
3	MIC IN	マイク入力ミニジャック	マイク入力用ミニジャック
4	LINE IN	ライン入力ミニジャック	ライン入力用ミニジャック
5	LINE OUT	ライン出力用ピンジャック	ライン出力用 RCA ピンジャック
6	VR	ボリューム	スピーカー出力用音量調整(シャフト式)
7	MODE2	モード 2 スイッチ	タイマー設定用
8	MODE1	モード 1 スイッチ	制御モード・タイマー・録音サンプリング周波数設定用

■リアパネル端子台　M3×18P



表示	I/O	接点制御	バイナリ制御	機能
DC　IN+	I	DC IN	DC IN	DC+24V(+12V)電源を接続できます。
DC　IN−	I	DC IN GND	DC IN GND	
SP+	O	SP OUT＋	SP OUT＋	スピーカー（5Wmax.8Ω）と接続します。
SP−	O	SP OUT −	SP OUT −	
ALM	O	/ALM	/ALM	アラーム出力　(注)電源 OFF まで出力保持します。
8	I	/SW8	/D7	接点制御モード時−再生チャンネルの再生起動 バイナリ制御モード時−再生チャンネルの指定
7	I	/SW 7	/D6	
6	I	/SW 6	/D5	
5	I	/SW 5	/D4	
4	I	/SW 4	/D3	
3	I	/SW 3	/D2	
2	I	/SW 2	/D1	
1	I	/SW 1	/D0	
STOP	I	/STOP	/STOP	停止他
OP	I	/OP	/STB	/STB ― バイナリ制御時再生起動
P/R	I	P/R	−	再生/録音モードの切替　　/Rー録音モード
BUSY	O	BUSY	BUSY	再生中出力
COM		COM	COM	COM

■設定　モードスイッチ　（再生モード・タイマー時間・全プロテクト SW・サンプリングモード）

名称	Bit−No.	設定項目	設定内容
MODE1	1−3	再生モード	再生モードの設定
	4−5	タイマー時間	インターバルタイマーとして機能 適用再生モード：通常再生モード
	6	全プロテクトスイッチ設定	録音・クリア処理・初期化処理の禁止
	7−8	サンプリングモード	録音時の音質の設定 サンプリング周波数：44.1KHz／22.05KHz ビット数：16Bit／8Bit

名称	No.	設定項目	設定内容
MODE2	1−4	個別 CH 録音禁止	1−4CH まで、個別に録音禁止設定ができます

■設定-再生モード（MODE1）

再生モード ●－＞ON

1	2	3	4～8		再生モード	概要
				1	接点制御―通常再生モード	ほとんどの全用途で使用できます インターバルタイマーが設定できます
●				2	接点制御―後入力切替再生モード	設備の操作説明・音響演出
	●			3	接点制御―優先順位再生モード	優先度の高い CH に即切り替え再生 CH8＜・・・・・・＜CH1
●	●			4	接点制御―順番再生モード(カウント)	1 点出力タイマー装置による定時放送 音響演出・作業マニュアル案内装置
		●		5	接点制御―順次記憶再生モード	入力された接点情報を記憶し、順次再生を行ないます (メモリバッファ 32CHmax)
●		●		6	接点制御―入力中再生	SW 入力が ON の間のみ発生します。
	●	●		7		
●	●	●		8	255CH-バイナリ制御	255CH 再生専用(2017 年 12 月までの製造) 255CH 再生・録音(2018 年以降製造)

■設定-インターバルタイマー （適用再生モード-通常再生モード）

再生終了後に上記モードスイッチにて設定されたタイマー時間が作動します。
タイマー作動中は、SW 入力を検知しません。タイマー作動終了後、SW 入力を検知状態になります。
BUSY 出力は作動中 ON 出力します。(再生時間＋タイマー時間)

適用再生モード：接点制御―通常再生モード （注)他の再生モードでは使用できません。

1～3	4	5	6～8		内容
				1	0 秒
	●			2	インターバルタイマー 5 分
		●		3	インターバルタイマー 10 分
	●	●		4	インターバルタイマー 15 分

●－＞ON

[上記以外のインターバルタイマーを必要する場合]

1. フリー・市販の録音編集ソフトで、音声・音源データの末尾に無音データを追加する
2. またはフリー・市販の録音編集ソフトで無音データを何種類か作成・登録。
   サポートソフト VoiceNavi Editor 上で音声・音源データ＋無音データで組立再生のプログラム登録をします。
   こうするとインターバル時間を手軽の変更できます。
   （メモリカード内の無音データをフリー・市販の録音編集ソフトで直接編集しても良い）

■設定-全チャンネルのプロテクトスイッチ（録音・オールクリア処理・初期化処理の禁止）

本スイッチが ON の場合は録音・初期化やオールクリア処理ができません。

1～5	6	7～8		内容
			1	プロテクト無効
	●		2	プロテクト有効

●－＞ON

（注） 1.MODE2-No1～4 個別チャンネルプロテクトスイッチのいずれかが ON の場合もできません。
2.サポートソフト VoiceNavi Editor で作成したカードデータの場合、指定ファイル名以外は録音できません。
[指定ファイル名] WRX001～WRX008.wav

■設定-サンプリングモード（録音時の音質）

ダイレクト録音時のサンプリングモードを設定します。
アナウンスは 22.05KHz 16Bit、サイレン音・チャイム音は 44.1KHz 16Bit とうような混在録音もできます。

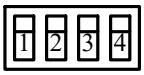
（注）　1.再生は、録音または登録した音声・音源データのサンプリングモードで行います。
2.2017 年 12 月以前に製造された WRX-8F1 ではバイナリ制御モードでの録音制御はできません。

1～6	7	8		サンプリングモード	内容	備考
			1	**44.1KHz 16Bit mono**	高音質　CD 同等サンプリング	推奨
	●		2	**22.05KHz 16Bit mono**	中音質　長時間アナウンス	
		●	3	44.1KHz 8Bit mono	低音質　長時間用	
	●	●	4	22.05KHz 8Bit mono	低音質　長時間用	

●－＞ON

（注）　音質自体は、回路、使用電源等の性能により大きく依存します。
上記はあくまでもサンプリングの内容を記載しています

■設定-個別チャンネルのプロテクトスイッチ （録音・オールクリア処理・初期化処理の禁止）



本スイッチが ON のチャンネルは録音ができません。
本スイッチのいずれかが ON の場合、オールクリア処理ができません。

名称	SW No.	設定項目	設定内容
MODE2	1-4	個別 CH 録音禁止	1-4CH まで、個別に禁止設定ができます

1	2	3	4		CH　No.	内容
●				1	1CH	1CH-録音/オールクリア処理/初期化処理の禁止
	●			2	2CH	2CH-録音/オールクリア処理/初期化処理の禁止
		●		3	3CH	3CH-録音/オールクリア処理/初期化処理の禁止
			●	4	4CH	4CH-録音/オールクリア処理/初期化処理の禁止

●－＞ON

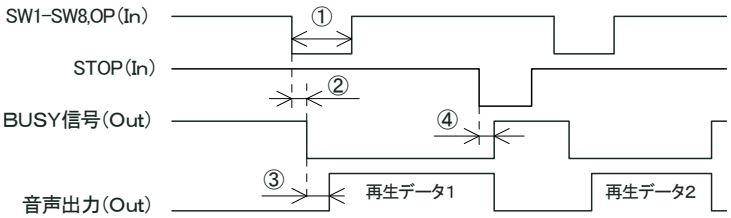
（注）　1.MODE1-No.6　全チャンネルプロテクトスイッチ　ON の場合も録音できません。
2.サポートソフト VoiceNavi Editor で作成したカードデータの場合、指定ファイル名以外は
録音できません。　［指定ファイル名］WRX001～WRX008.wav

■入出力信号＆タイミングチャート

信号名	ホスト側	内容	パルス幅	備考
/1-4(8)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/OP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/STOP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/REC(P/R)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上	
/BUSY	IN	オープンコレクタ　DC＋50V　500mA		
/ALM	IN	オープンコレクタ　DC＋50V　500mA		

■接点制御　再生の場合

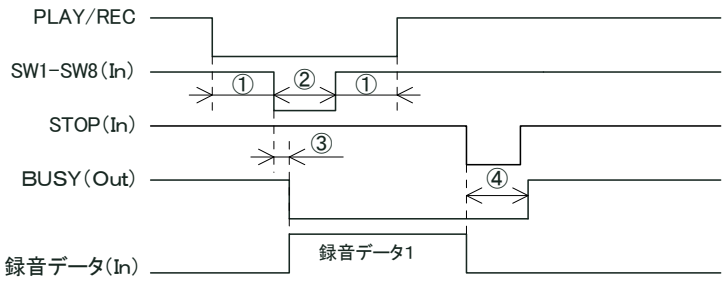
No.	信号名称	時間
①	SW/OP 入力時間	50ms min.
②	BUSY 出力タイミング	50ms max.
③	音声出力タイミング	130ms max.
④	音声終了タイミング	50ms max.



■接点制御　録音の場合

No.	信号名称	時間
①	SW 入力タイミング	50ms min.
②	SW 入力時間	50ms min.
③	RBUSY 出力タイミング	50ms max.
④	RBUSY 終了タイミング	4S max.

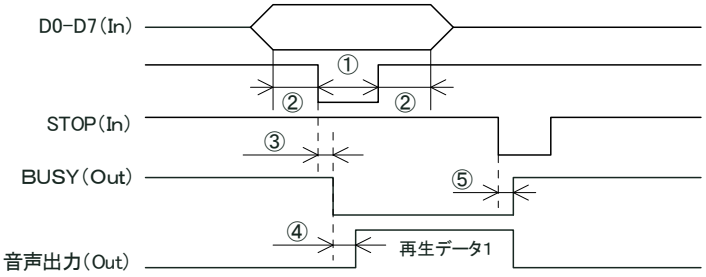
※バイナリ録音対応の 2018 年以降製造品より RBUSY が最大 4S となっています。（以前は最大 1.5S）



■バイナリ制御　再生

No.	信号名称	時間
①	OP 入力時間	50ms min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミング	130ms max.
⑤	音声終了タイミング	50ms max.

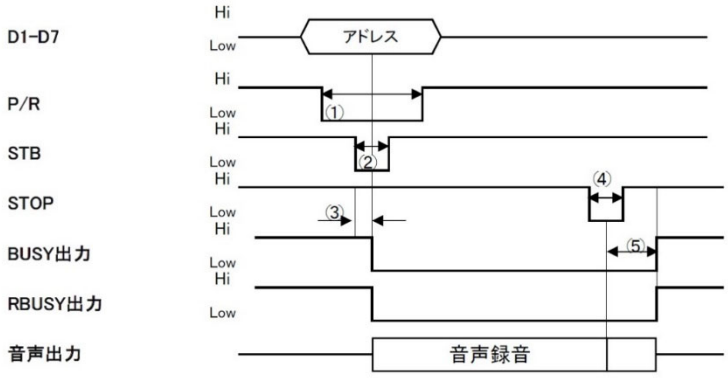
注. BUSY 出力は PBUSY を含みます



■バイナリ制御　録音

No.	信号名称	時間
①	REC 信号入力時間	150ms min.
②	STB 信号入力時間	50ms min.
③	録音開始タイミング	130ms max.
④	STOP 停止信号入力時間	50ms min.
⑤	WAVE ファイル処理時間	4S max. ※

※バイナリ録音に対応の V1.2 以降より RBUSY が最大4S となっています。（V1.1 以前は最大 1.5S）



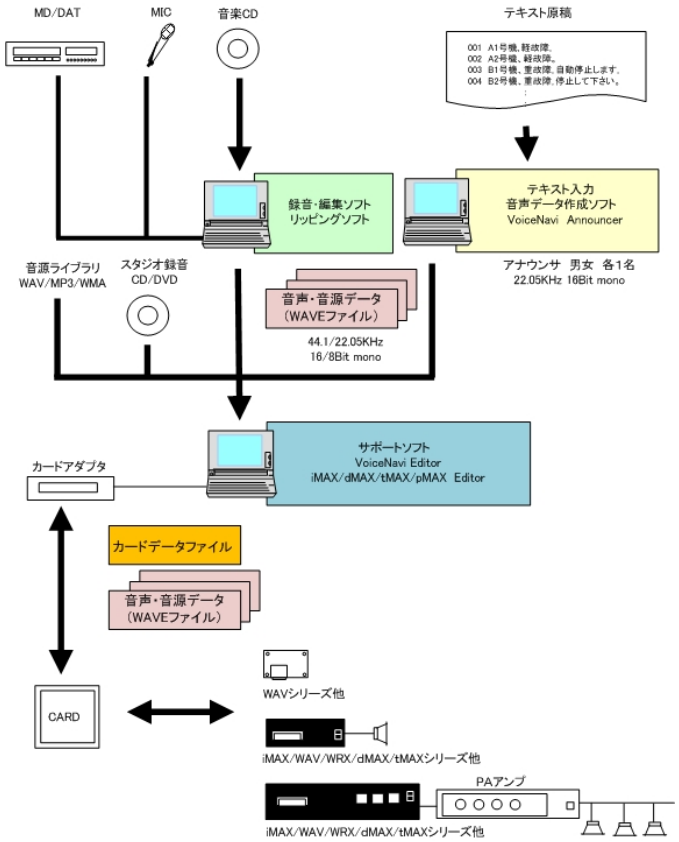
（ご注意）　録音後の CF カード内部処理時間　　約 4 秒間

録音後、WAVE ファイル化、カード管理データ作成のため、約 4 秒間かかります。->RBUSY

※バイナリ録音対応の 2018 年以降製造品より RBUSY が最大 4S となっています。（以前は最大 1.5S）

■音声・音源データの録音・登録 とWRX-8Fシリーズ用カードデータ作成

WAV-8F シリーズはクラアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。
サポートソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)上で音声・音源データ(WAVE ファイル)登録、接点端子・アドレスに登録します。その際、最大 8 データまでの組立再生・9 回までのリピート回数などのプログラム登録もできます。



■音源・音声データ(WAVE ファイル)の用意
1.PC 録音
PC 上でフリー・市販録音編集ソフトを使用して録音、前後の無音部をカットしてファイル保存
2.オーディオ CD の場合
フリー・市販のリッピングソフトで WAVE ファイル化
3.テキスト入力の場合
テキスト入力音声データソフトでWAVE ファイル作成

■サポートソフトでカードデータ作成
1.音声・音源データ(WAVE ファイル)登録
2.接点端子・アドレスに登録
3.プログラム登録(組立再生・リピート回数)
4.カードデータ作成

■CF カードへコピー
作成したカードデータを USB カードアダプタ経由でコピーします。
(フォルダ内の***.wpjと***.wav)

■WRX シリーズ本体でのダイレクト録音とカードデータ内容

マイク・ライン入力でダイレクト録音した場合、メモリカード内に録音した WAVE ファイル(.wav)と初回にカードデータファイル(.wpj)が作成します。

■カードデータファイル名 [カードファイル名] default.wpj
初回録音時に本カードファイル名のカードデータファイルを作成します。
カードデータファイル(.wpj)形式はサポートソフト VoiceNavi Editor で作成するカードデータと互換性を有します。
したがってサポートソフト VoiceNavi Editor により WRX シリーズで録音した CF カードのカードデータをファイル読み込みできます。

■WAVE ファイル名
CF カード内に PCM データによりダイレクト録音後、接点端子 No.に該当するファイル名などのヘッダーを変更・記録します。

SW No.	WAVE ファイル名
1	WRX001.wav
2	WRX002.wav
3	WRX003.wav
4	WRX004.wav
5	WRX005.wav
6	WRX006.wav
7	WRX007.wav
8	WRX008.wav

(ご注意)
パソコン上で左記のファイル名を変更した場合、そのチャンネル(SW No.)は WRX シリーズ上でダイレクト録音(新規&上書き録音)できません。

■サポートソフト VoiceNavi Editor によるカードデータの作成・変更

無償配布（WEB/付属品 CF カード収録）のサポートソフト VoiceNavi Editor で音声・音源データ(WAVE ファイル)の登録、カードデータ作成できます。
その際、組立再生・リピート回数のプログラム登録ができます。
また作成したカードデータの読み込み、追加・変更・削除ができます。

●ダイレクト録音したカードデータの読み込みと追加・変更

WRX シリーズ本体でダイレクト録音したカードデータも読み込み、追加・変更・削除できます。
WAVE ファイルを変更する場合、カードデータ読込前にファイル本体でネーム変更して下さい。
下記以外のファイル名にしますと「上書き録音」できません。

エディット画面（アドレス・プログラム再生登録画面）

No.	SP	R	1	2	3	4	5	6	7	8
01	1	1	WRX001.wav							
02	1	1	WRX002.wav							
03	1	1	WRX003.wav							
04	1	1	WRX004.wav							
05	1	1	WRX005.wav							
06	1	1	WRX006.wav							
07	1	1	WRX007.wav							
08	1	1	WRX008.wav							
:	:	:								
254	1	1								
255	1	1								

●新規作成と追加・変更・削除

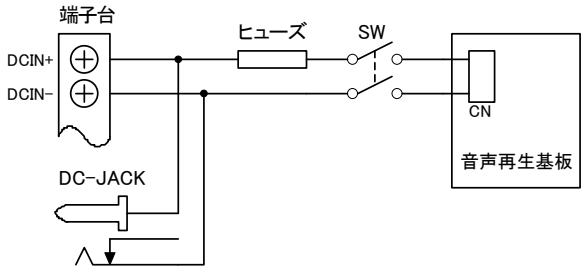
PC 録音、スタジオ録音した音声・音源データ(WAVE ファイル)を登録、接点端子(アドレス)登録、カードデータ作成できます。
（本体でダイレクト録音した場合）
ダイレクト録音した場合、接点端子に該当する CH No.を WRX001～008 というファイル名の WAVE ファイルを登録しておきます。このファイル名の場合、ダイレクト録音（上書き）できます。

エディット画面（アドレス・プログラム再生登録画面）

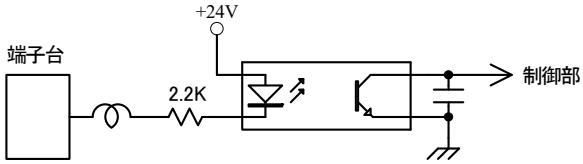
No.	SP	R	1	2	3	4	5	6	7	8
01	1	1	a001.wav							
02	1	1	b002.wav							
03	1	1	c003.wav							
04	1	1	abc01.wav							
05	1	1	WRX005.wav							
06	1	1	WRX007.wav							
07	1	1	WRX007.wav							
08	1	1	WRX008.wav							
:	:	:								
254	1	1								
255	1	1								

■内部回路・等価回路

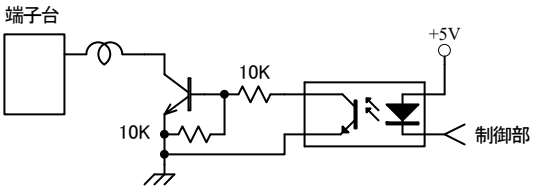
● DCジャックと DC 電源入力



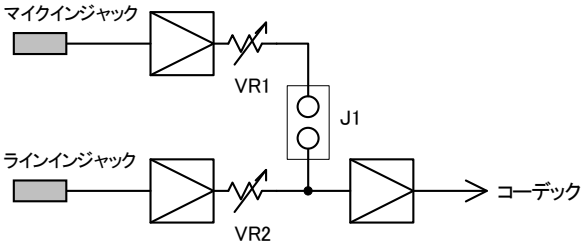
●入力信号ライン】 SW1-8(D0-7) OP STOP



●出力信号ライン BUSY ALM

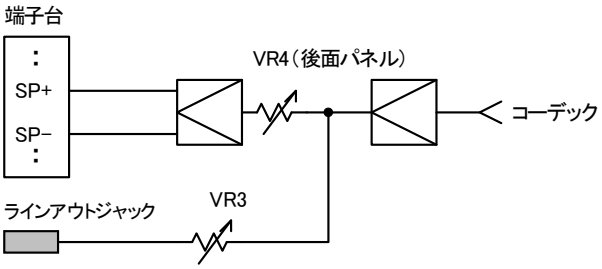


●マイクイン・ラインイン



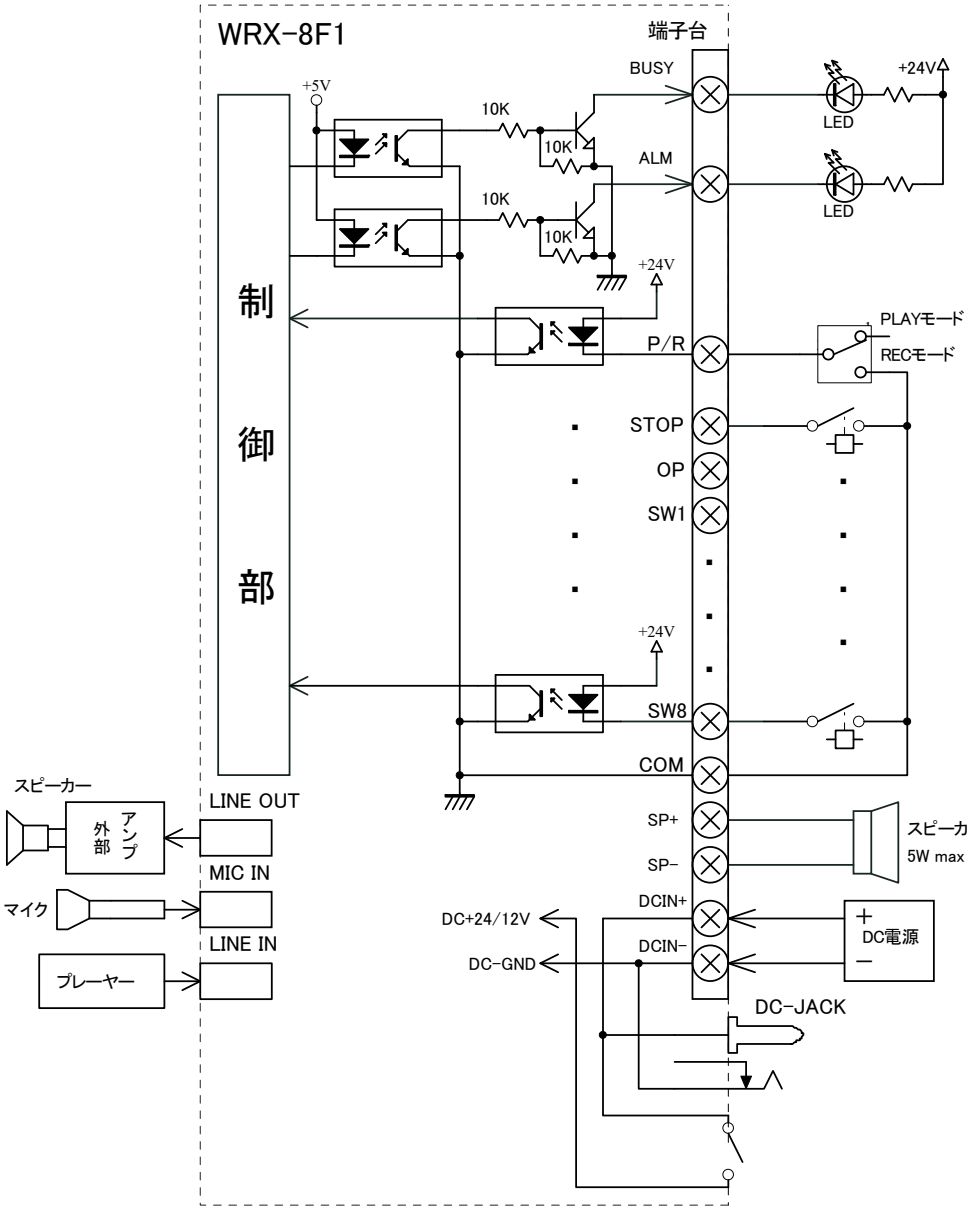
(注)工場出荷時は J1 ショート

●スピーカーアウト・ラインアウト

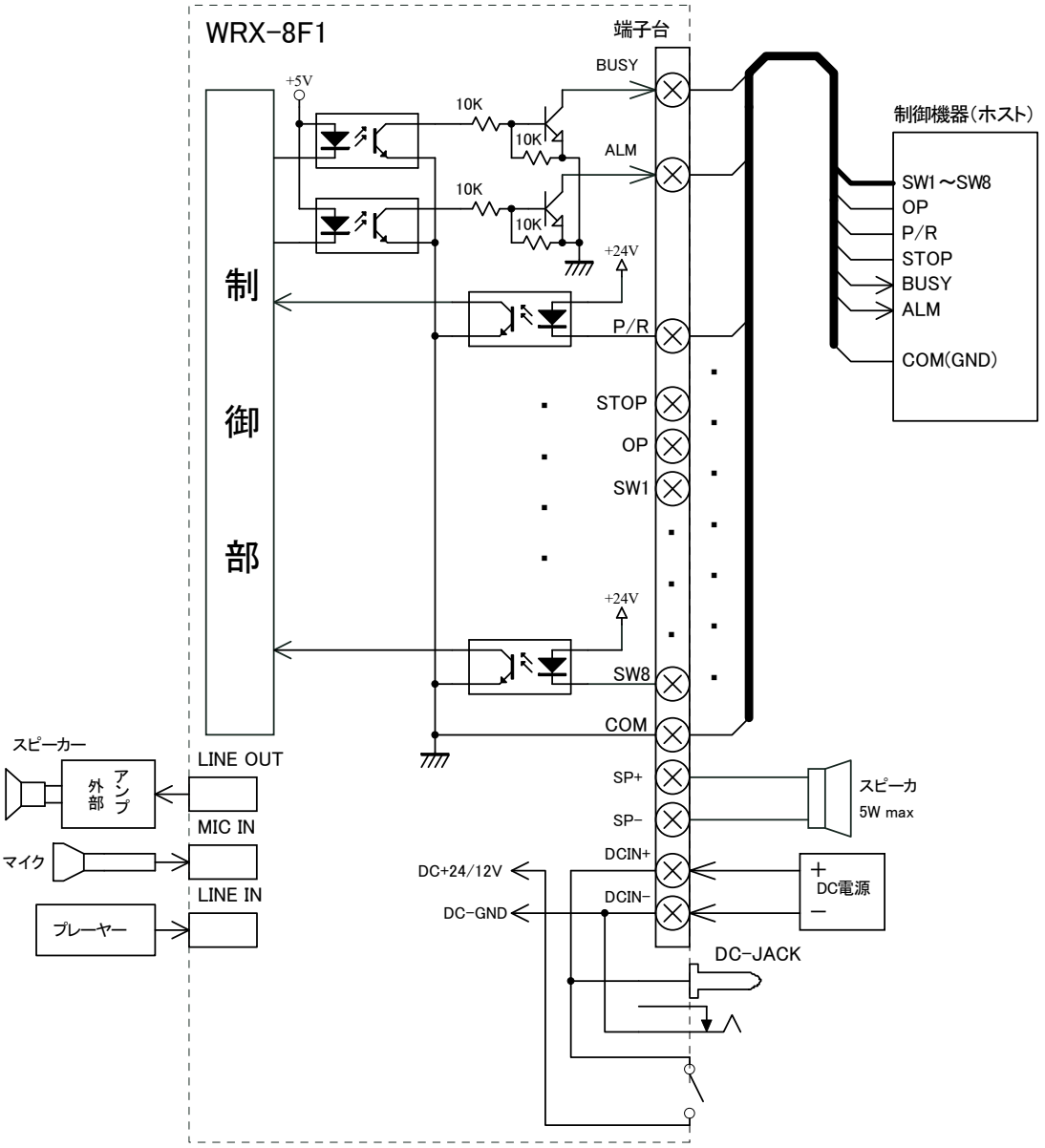


■接続参考図

●8CH-接点制御の場合



●255CH-バイナリ制御の場合　（再生・録音）



(注)本書中記載の商品･社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様･概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉 3500-17　TEL 026-257-6210　FAX 026-217-2893

URL http://www.voicenavi.co.jp/　E-mail：info@voicenavi.co.jp